

2018・小学校中学年「森のおくから：むかし、カナダであったほんとうのはなし」

□この本を選んだ理由は だからです。

最初に表紙 / 表紙ウラの動物たちを見たとき と思いました。

なぜなら だからです。

□物語は 100 年前のカナダで本当にあったおはなしで、
と思いました。

□ホテルでのくらしやお客さんの様子が書かれています。私が一番好きな場面は、 です。
なところが好きです / 気に入りました / いいなと思いました。

□もし私がカナダの森のホテルで過ごすとしたら、
を試みたいです。

□日でりがつづく夏に山火事が起こります。山火事はすぐに燃えひろがり、にげるところがなくなります。
もし私がその場にいたら、
だと思いました。 / と感じました。

□山火事にあつた人たちが、炎に焼かれないうみに入ります。目の前まで火事におそわれる / 肩まで
みずうみにつかる / 絶体絶命のピンチ なんて経験は、
と思いました。 / と考えました。 / でと感じました。

□そして山火事にあつたたくさんの動物たちもみずうみに入ります。炎からにげるために ウサギやリスなどの
小さな動物だけでなく、クマやオオカミなどの危険な動物たちも人間のすぐ近くにやってきます。
私は本を読みながら、自分のことのようにドキドキ / こわくてしょうがない / すぐにでもにげだしたい /
もっと近くで動物を見たい / 動物にさわってみたい / きもちになりました。

□逆に、もし私が 小さな動物 / オオカミやクマのようなもうじゅう なら、たくさんの人の前にあられるのは、
なのではないかと考えました。 / ではないかと想像しました。

□山火事があつたことで人間と動物のへだたりが少しの間なくなりました。私も（自然や動物とふれあつた
出来事や動物と仲よくなれた体験） ということがあります。

そのときは、 と思いました。

□野生の動物を近くで感じることはなかなかできないけど、この物語を読んで
ではないかと思いました。 / 考えました。